

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【公開番号】特開2009-18185(P2009-18185A)

【公開日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-004

【出願番号】特願2008-236740(P2008-236740)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 6 D

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月28日(2009.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

打球が入賞し易い開状態と入賞し難い閉状態とをとりうる可変入賞口と、  
 打球の流入を感知可能なセンサが取り付けられた始動口と、  
 前記始動口への打球の流入に基づき乱数を取得し、当該乱数が当選しているか否かを判定する、遊技者に有利な特別遊技への移行を決定する特別遊技移行決定手段と、  
 特別遊技中のラウンド数を決定するための特別遊技内容決定手段と、  
 前記特別遊技内容決定手段で決定された内容に従い、前記可変入賞口を制御して特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、  
 画像表示装置と、  
 前記画像表示装置上での表示に関する制御を行う表示制御装置と  
 を有するパチンコ遊技機において、  
 前記特別遊技内容決定手段は、更に、  
 一ラウンドの時間内で、前記可変入賞口の前記開状態と前記閉状態を繰り返すことにより、擬似的にラウンド継続回数を増加させる擬似継続回数増加手段を有し、かつ  
前記パチンコ遊技機は、前記可変入賞口内に入賞した球が所定数に達した場合又は前記可変入賞口の前記開状態の合計時間が所定時間に到達した場合に一ラウンドが終了するよう構成されており、ここで、前記パチンコ遊技機は、前記所定時間として複数パターンを有しており、  
 前記表示制御装置は、一のラウンドにおける最終の擬似ラウンドが終了した場合、当該ラウンドの後に次のラウンドが存在する場合には、前記最終の擬似ラウンドから前記次のラウンドの間で演出を実行することを特徴とするパチンコ遊技機。